

もとぐされびょう

# サツマイモ基腐病に注意!

- サツマイモ基腐病(もとぐされびょう)は、株元の茎が枯れ、土中のイモが腐る病気です。収穫時には健全に見えたイモでも、貯蔵中に発病し腐ることもあります。
- 2018年秋に九州地区で国内初確認されて以降、感染した種イモやつるを介して、急速に全国に広がっており、このたび県内でも初確認をしました。
- 対策の基本は「持ち込まない、増やさない、残さない」ことで、そのためにも「早期発見」が重要です。

**!** 生育中や収穫時に写真と似た症状を確認したら最寄りの農林(水産)事務所農業部にご連絡下さい。



サツマイモの株元の茎が枯れます。



枯れた茎の表面に微小な黒粒があります。



本病に関する情報はこちら  
(山口県病害虫防除所HP)



イモの腐敗は茎側から進みます。(出典:サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策(令和4年度版:国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構))